

救急集中治療科

I 経験、習得すべき事項

- ・当科で経験できる可能性の高い症状、所見の鑑別診断
発熱、めまい、失神、意識障害、頭痛、腹痛、下痢、嘔吐、呼吸困難、咳、痰、胸痛、麻痺、痙攣、
高体温、低体温、外傷、中毒、心肺停止

II 当診療科における研修の特徴

当科では、救急外来業務を中心とし内因性・外因性を問わず、救急疾患の診療を行う。
また、原因の明らかではない重症症例に対する集中治療の経験をする。他、各研修医の希望に応じ、
腹部超音波・心臓超音波に修練や画像診断部門での読影、緊急手術や処置の研修や救急外来を
経由した入院症例の診療を行うことができる。